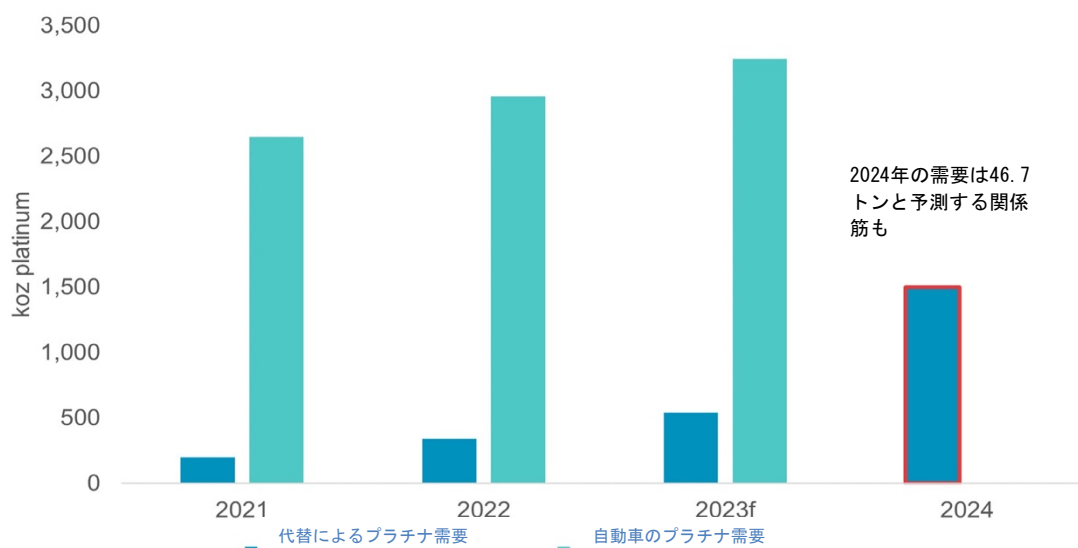


パラジウムの 代替となる プラチナ

代替需要がさらに伸び
今年の自動車のプラチナ需要は
増加へ

世界の自動車生産はまだコロナ禍以前のレベルに回復していないが、自動車のプラチナ需要は伸びている。2022年の需要は12%増えて92トン、そして今年の需要はさらに10%増え、2019年の需要よりも13%多い、101トンになる予測だ。2022年の世界の自動車生産は8200万台で、8900万台を生産した2019年よりも8%低いまま。今年の自動車生産高予測も2019年の水準には届かず、8600万台。このような状況で自動車のプラチナ需要を押し上げている大きな要因はガソリン車でパラジウムの代わりに

使われるプラチナだ。2022年の需要は11.2トンだったが、今年は5割増えて、16.8トンになる予測だ。2022年自体も前年の8割増であった。この需要を牽引しているのは、厳格化する排ガス規制で車両一台に使われるプラチナが増えていること、エンジンの温度の変化が大きいため浄化触媒装置に使うプラチナの量が増えるハイブリッド車のマーケットシェアが増えていることなどが挙げられる。



代替が生み出すプラチナ需要は、自動車生産高の動向による需要よりもはるかに大きい。

資料: メタルズフォーカス、WPICリサーチ、*2024年の代替需要はメタルズフォーカス及びWPICリサーチの予測ではない

プラチナとパラジウムはともに自動車触媒に適した物理的、化学的特質を持っている。1970年代に初めてプラチナが自動車の浄化触媒装置に使われて以来、排ガス基準の変遷、技術革新、市場価格の違いなどから、様々なPGMの組み合わせが浄化触媒装置に使われ、プラチナの代替としてパラジウムが使われた時期もあった。

2000年代になると燃料の硫黄含有率が大幅に減ったことで、パラジウムとプラチナの間の代替率を2対1から1対1に変えることが可能になった。その結果、ガソリン車の浄化装置にはプラチナの代わりにパラジウムを使うことが主流となり、プラチナはディーゼル車の浄化装置の主流となった。

しかし、需要と供給の関係、そして金属の価格を始め入手にかかる関連コストの変動が、

浄化触媒装置に使われるPGMの種類に影響してきた。近年ではプラチナとパラジウムの価格を含む市場の不均衡が、パラジウムの代わりに同様の浄化効果がありかつ安価なプラチナを使う動きを支えている。

需要の継続

パラジウムの代替としてプラチナを使う動きがある車種で一度確立されると、それに関連する年間需要がその車種の寿命の間（通常は7年間）、毎年生じることになる。従って、たとえプラチナとパラジウムの価格が同等になったとしても（代替率1:1のまま）、つまりプラチナを使う経済的な理由がなくなったとしても、代替によって生じた今日までのプラチナの需要は、プラチナを使う全ての車種の寿命が尽きるまで続くことになるのである。

Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution, bclifford@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com



WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com

免責条項: © 2023 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複写、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。